

咲子さんノ

染女ラレ事情





さて…となると  
彼は努力の末に繋いだ道を  
諦めなければならなく  
なるかもしれません…



御堂君の  
しでかした不祥事は  
見過ごせません  
これを見過ごしたとあつては  
重大な責任問題



ニッ



期限は必ず…

…りました…



節操がなくて  
お恥ずかしいですが…

守って頂きます…

それでは早速…





口開いて  
舌突き出して…

もっと…  
そう…

私の唾の味…  
よおく味わって  
しっかり覚えなさい…

うえ…

ふふ…  
すぐに慣れる…

んんん…

んんん…



ん…

ちゅ…

ふ…

んんん…



んんん…

んんん…

素晴らしい  
おっぱいだ…

いやあ…

柔らかいのに  
程良く張りがあった  
手にしっとり  
吸い付いてくる…



も…

やはり  
思った通りだ…

あ…



そんなこと…  
いいですから…  
早く…済ませ…

そうはいかない

キモチ良い方が  
御堂先生も有意義  
でしょう？

そんな…  
必要ありません…



一石二鳥じゃ  
ありませんか

強ちキムネシ…



御堂先生…  
こうなったら  
楽しんだモノ勝ち  
そうは思いま  
せんか？

気持ち良く  
抱かれてるだけで  
平穩が戻る…



なんで…こんな  
刺激が…

「し…ため…  
あの人は違っ…」



何…  
勝手なこと…

貴方の  
欲望を充たして  
差し上げますよ…

だったら尚更  
私が…

これまであまり  
ご経験が  
ないようで…

それに  
その様子じゃ…



ではそろそろ…  
メインを頂くと  
しよう…



私…  
ありますから…

いやあ…  
面目ない

白々しい…



ま…待って  
下さい…!!  
ゴムは…

あいにく  
持ち合わせが  
なくてね…



さすがいつも  
しっかりされている  
御堂先生だ

……



サイズ…  
大丈夫かな…  
買い直しに  
行きたかった  
けど…

入るぞ…

…とお…

もし機嫌を  
損ねたり  
したら…



それにしたって  
何なの…  
この大きさ…

こんな子供の  
腕みたいなので  
されたってきこ  
痛いただけ…



!!

ズ  
ズ  
ズ



さあて…  
これでよろやく…

…

準備が  
整ったかな…

くちやああ…

ズ  
ズ  
ズ



おっと  
スマンスマン…  
ついクセでね…  
一気に根元まで  
入れてしまった…



貴方のは  
あまり使いこまれて  
いないようですし…

しっかり  
ほぐして差し上げ  
ますよッ…

はっ!!











も...もう  
十分でしょ...

ああ...  
いやあ...

そう艶っぽく  
おねだりされては  
仕方がない...

早く...  
済ませてエ...!!



イイですか?  
イキます....

よ...  
お...  
お...

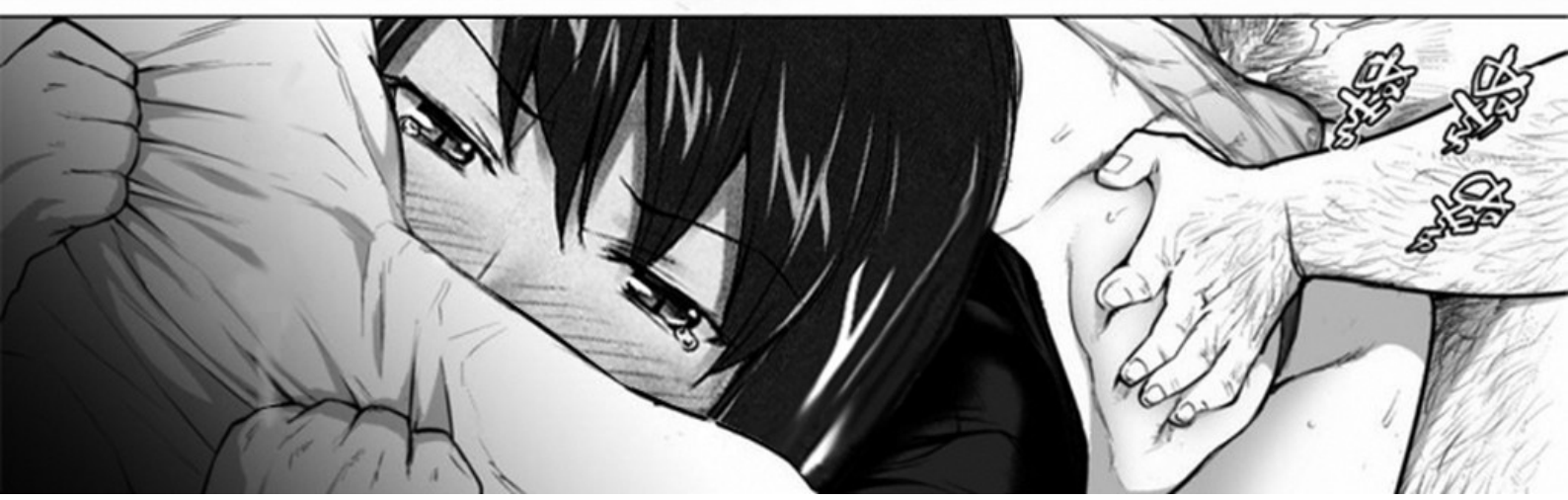


いかんせん  
私のは量が  
多いんでね...

覚悟しなさい...

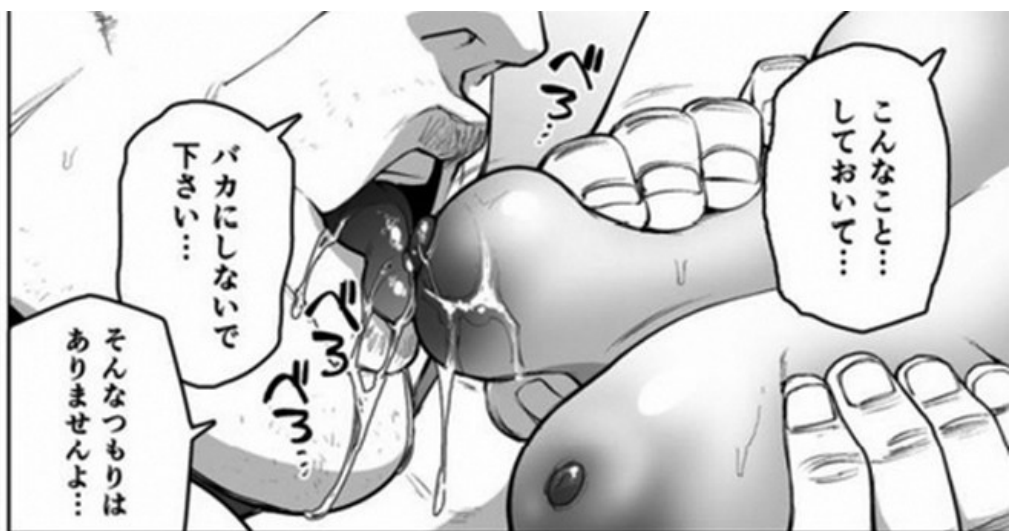














先生の契約  
不履行とあれば…

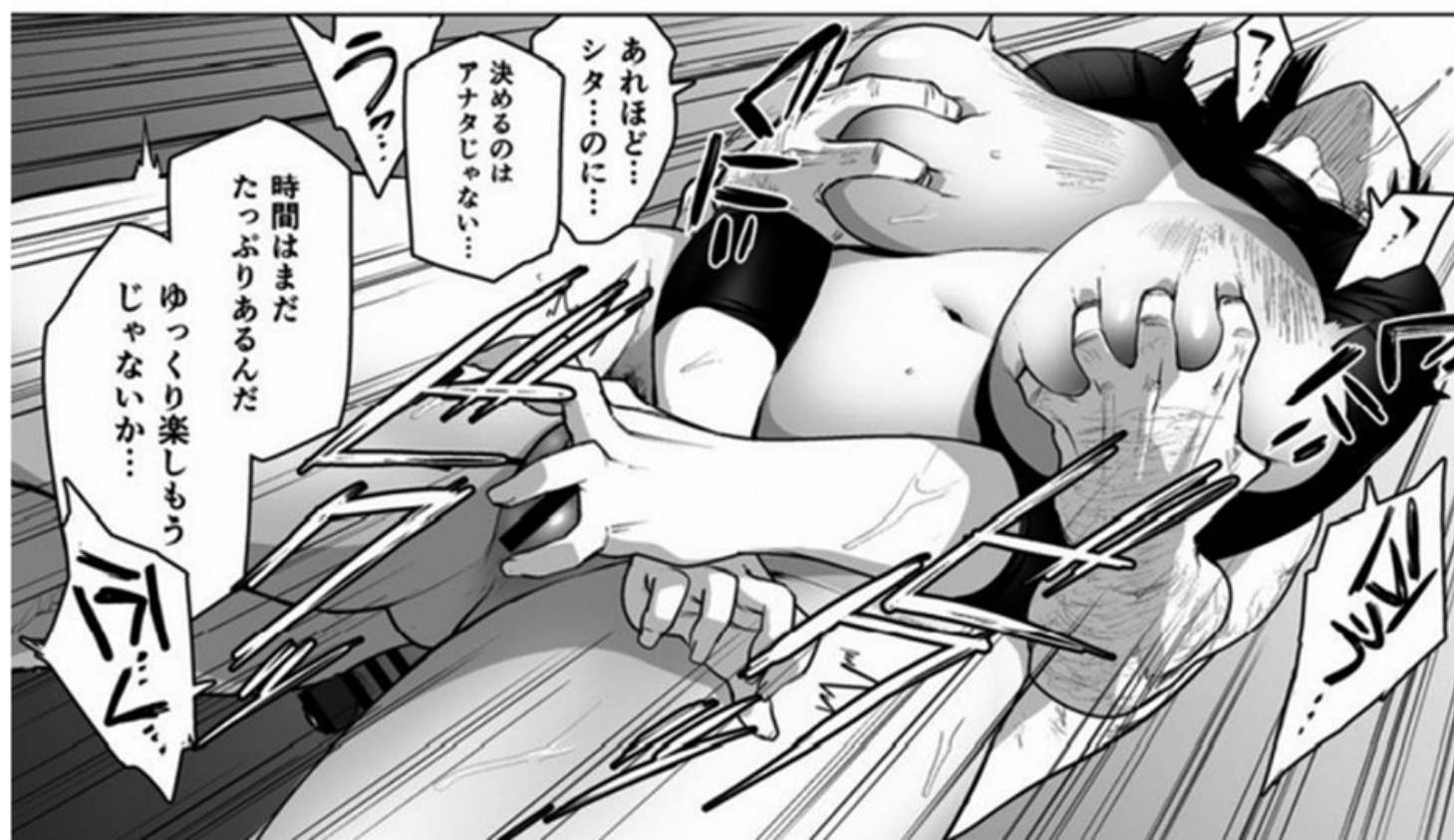
私がわざわざ  
彼を守る  
理由もない…

御堂君の  
しでかした淫行を  
なんとか内密に  
しようと思っ  
ましたが…

くっ…



アナタは  
一時の感情で  
それを無碍に  
すると…



あれほど…  
シタ…のに…

決めるのは  
アナタじゃない…

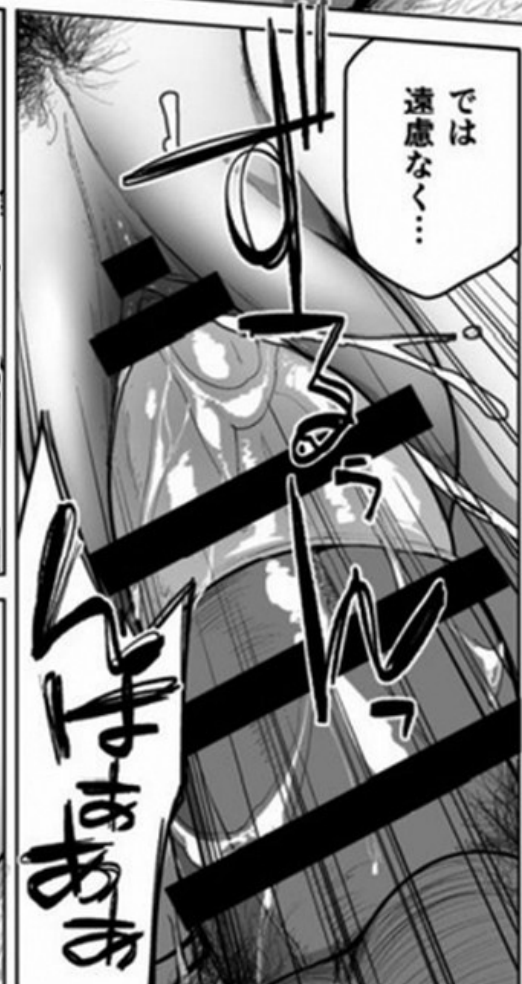
時間はまだ  
たっぷりあるんだ

ゆっくり楽しもう  
じゃないか…













こんなに  
締め付けられては  
抜けませんな…

うむ…

だめ…

…もう…

貴方の欲深い  
マンコがバクついて  
いるのを拝みたかった  
のですが…

食い付いて  
離れないというのも  
これはこれで…

ああ…  
んやあ…

ハハハハハ  
ハハハハハ

ハハハハハ

は  
は

は  
は

は  
は

は  
は

ふ…かあ…

おろし…  
る…

だ  
だ

た  
た

た…

ハハハハハ

ハハハハハ

ハハハハハ

ハハハハハ

ハハハハハ









んえええ...  
 な...に...これえ...  
 さつきより...  
 カタチが  
 はつきりして...  
 だめ...これ...  
 キモチ良イ...  
 ...いやだ...  
 ワタシ...  
 ホントに  
 この男のに...  
 慣れ...  
 ...  
 ちが...う...  
 ...ウソ...  
 そんな...こと...  
 でも...  
 この感触って...  
 ...こんな...  
 ...約束したのに...  
 ...まさか...





いやあ…

だすぞ…

腹内に全部  
注ぎ込む…

おんぶ

たが  
たが

だめえ…  
だめええ…

くああ…  
いいか…  
種を植え  
付けるぞ…

たが  
たが  
たが



中だ…!!

中に…  
出すぞツ!!

いやあ…!!  
中は…  
中だけは…!!

たが  
たが  
たが  
たが  
たが  
たが  
たが  
たが



旦那じゃ  
届かなかった  
所お…

べったり  
ひっつけて…

たが  
たが  
たが  
たが  
たが  
たが  
たが  
たが





うん...



お疲れ様...

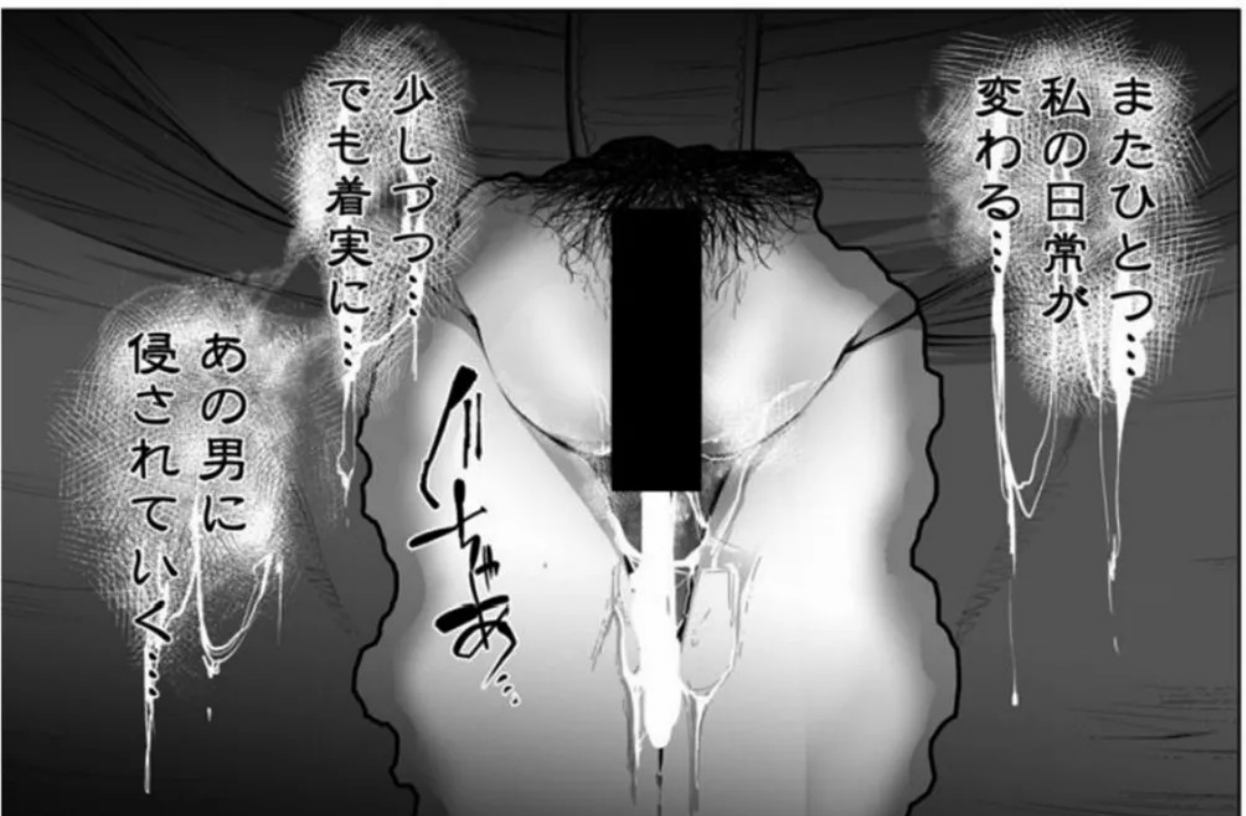
それでは...  
また今度...



...と...  
そうだ...コレを  
渡すんだった...

つまらない物ですが  
置いていきますよ  
気に入ってくれると  
良いんですが...













気に入って  
頂けたようで  
嬉しいです



どうやって  
中か...

主任...  
何で...





ダ...  
メエ...

ああ...

はっはあ...  
これは  
スゴい...

ひひひ...



また随分と  
楽しんでもらえた  
ようですね...

しっかり吟味して  
用意した甲斐が  
ありましたよ...

.....



それじゃ私も  
お手伝いを...

は？  
あの...



トコトコ...









この歳になって  
御堂先生のような  
若い女に焚きつけ  
られるとは…

アッアッアッ…

これは久々に  
滾ってきた…



覚悟しなさい…





こんなに  
できた義母さんを  
持って…

ん  
ん  
ん

御堂くんが  
本当に  
羨ましい…

また…

シちゃってる…

しかも…生……

死んだ旦那さんと  
結婚の報告に  
来た時は…

「Shenanigans…」

本当に驚き  
ましたよ…

まんまん…



気持ち良いですか  
御堂先生？

亡くなった  
旦那さんは  
こんなことして  
くれんでしょう？

どう  
でしょう…

契約の後も  
私の元に  
来ては…？

悪いようには  
しませんよ…

自分の女が  
こんなにエロい女だ  
なんてことも…

人の話を…

あ…





ごめん...  
なさい...

もっと

ごめんなさい!

もっと!

ごめんなさい!

もっとだ!!

ごめんなさい!!

ごめんなさい...

もっとだ...

ごめんなさい!!



分かって  
くれれば  
良いんです...



素晴らしい女性に  
こんなことで汚点が  
ついては...

年寄りの  
おせっかいと思って  
流して下さい...



すみません  
取り乱して  
しまつて...







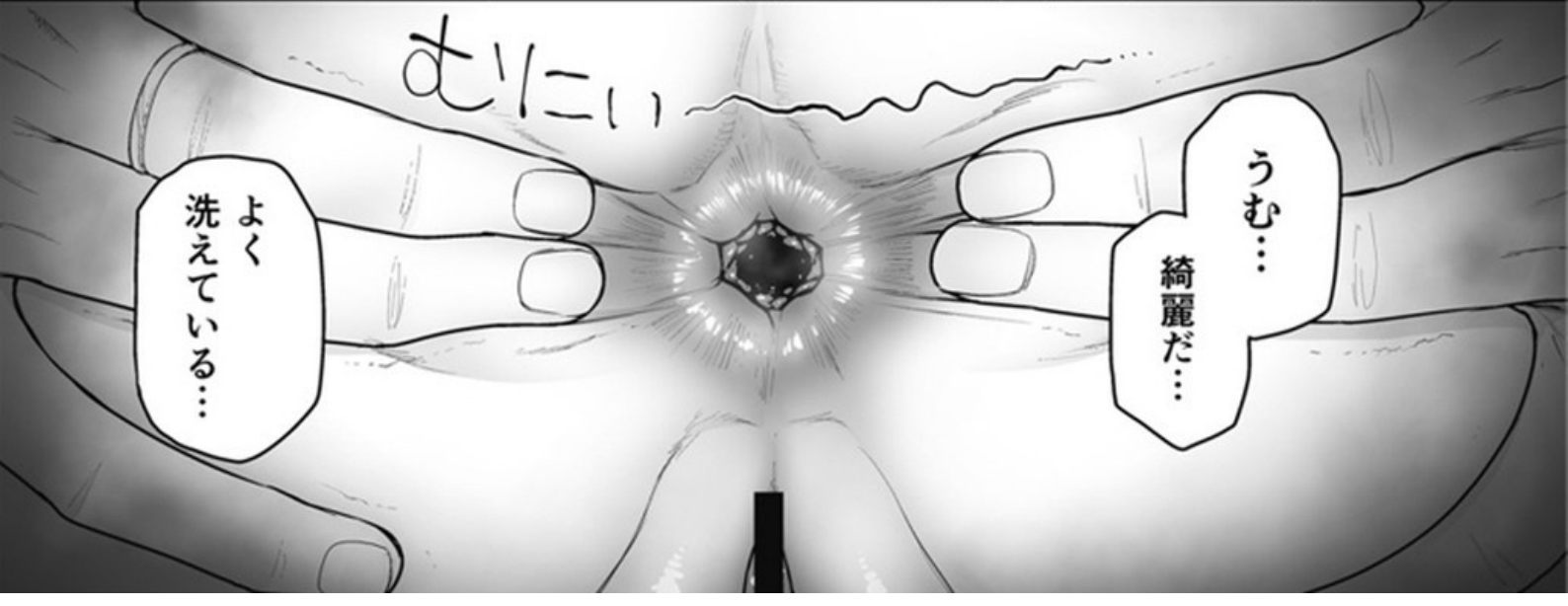














好きそうな  
予感はしたが…

初めてで  
ここまで反応が  
イイとは…

実に仕込み  
甲斐がある…



変…  
態イ…

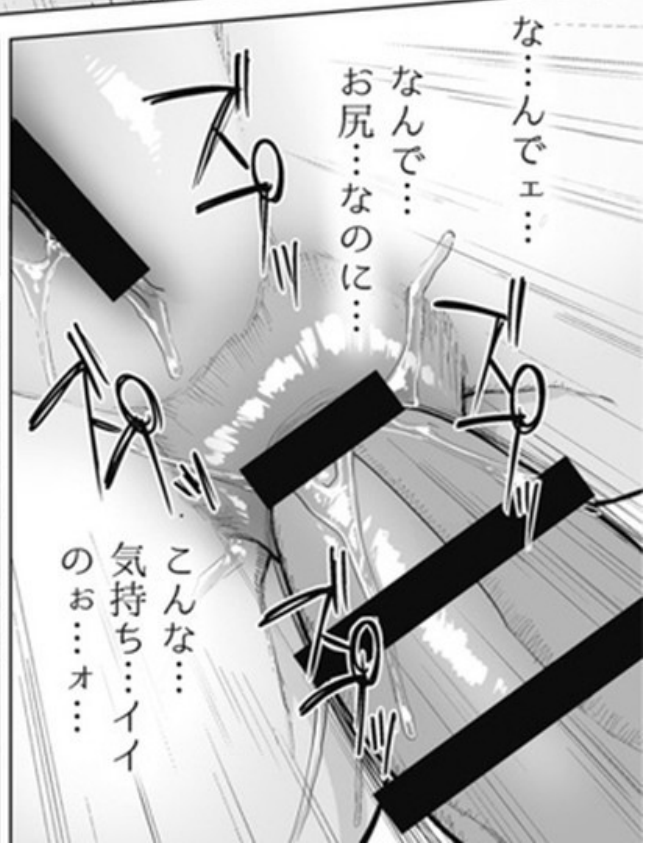
男は  
みんな…

少なからず…  
変態性が  
あるものだ…

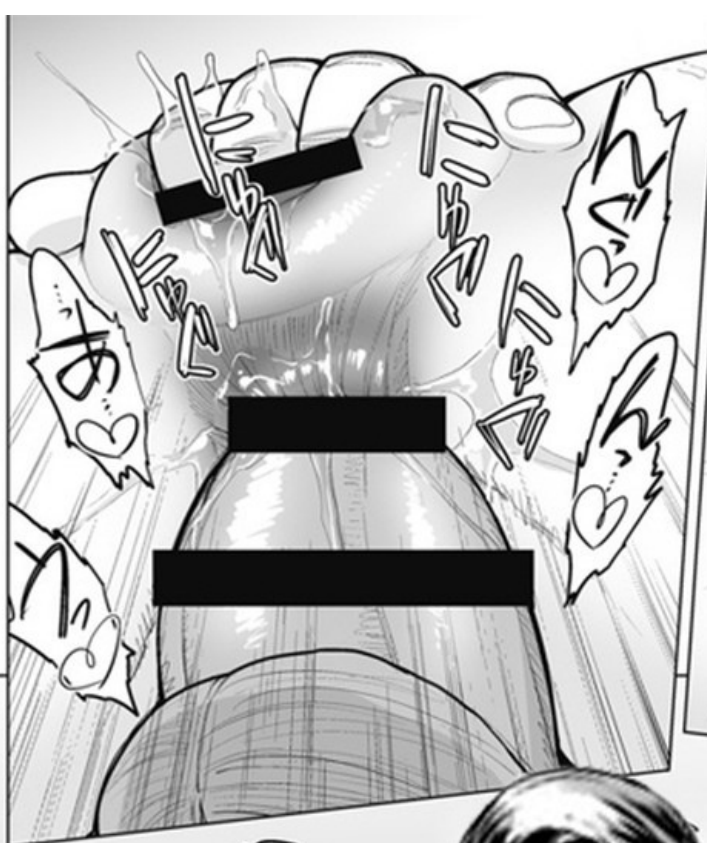
















旦那のチンポで  
こんなに  
感じたか？

思い切り  
イケたことが  
あるか？

こんなのに  
負けちゃダメ…

もう少しで  
いつもの平穏な  
生活に戻る…



愛のない  
こんな乱暴な  
セックスは…  
もういや…

こんな…  
セックス…  
二度と…しない…

…違う…

してもらえない…



今は……  
考えたく  
ありません……



答えは  
聞かずとも  
先生の身体が  
語って……



もしもの話……  
ですよ……



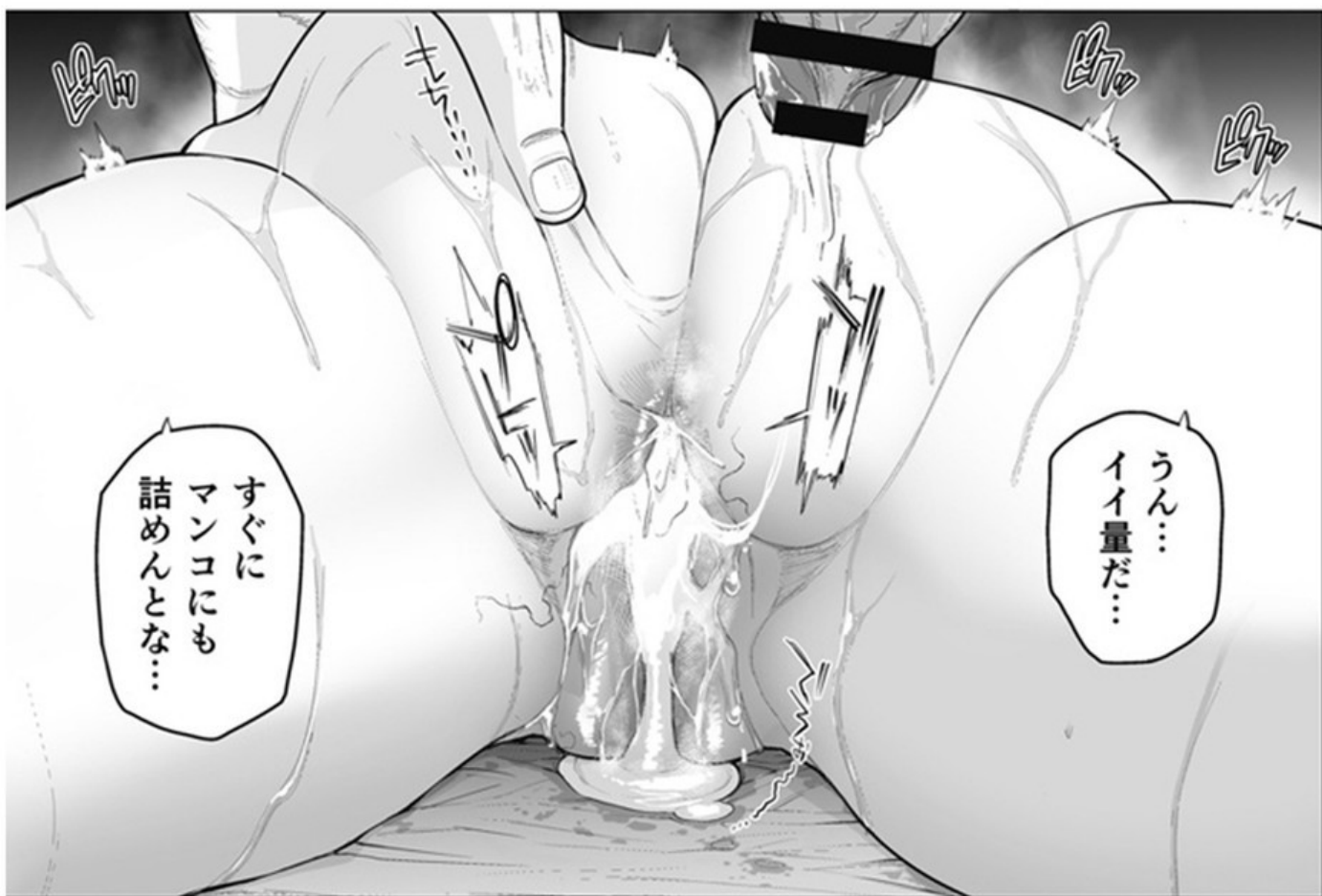
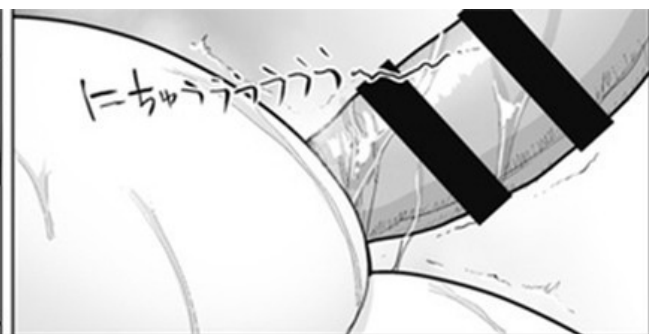
そうだ……  
なッ!!



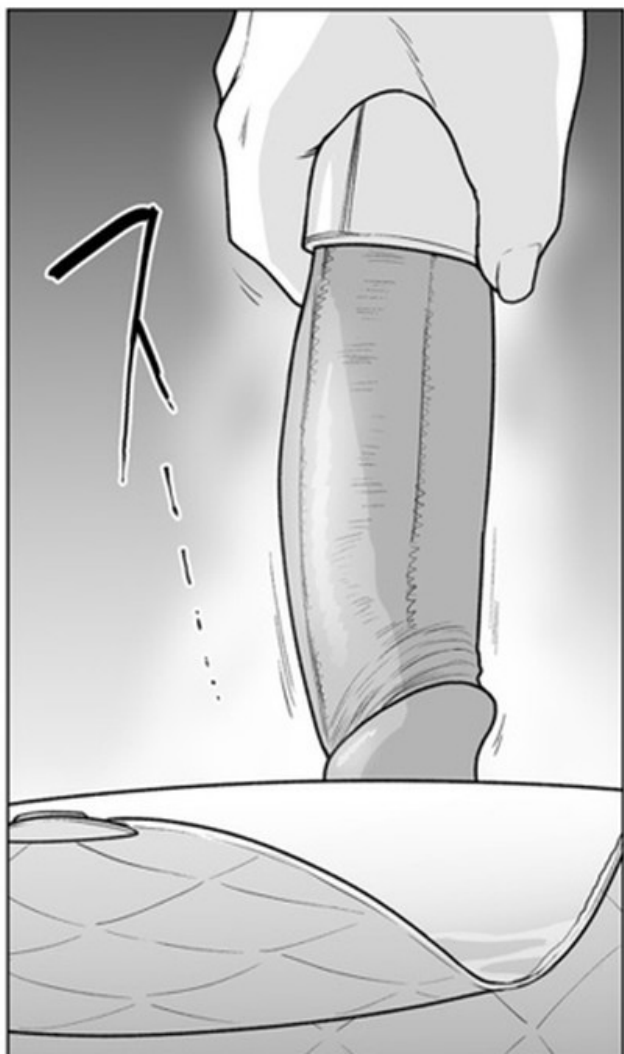
出し……  
出し……!!

出すぞ!!  
中にイ……













それでも  
玩具では  
補いきれない……

私の身体に  
焼きつけられた  
深い熱と  
膣を蠢く  
感触を……

あの男を……

主任のことを……

より鮮明に  
思い出させる……

ただの  
性欲解消……

そう思えば  
思うほど……

私の愚かさは……

その形を……

しゅ……にん……

ありありと  
させる……





.....イクッ.....

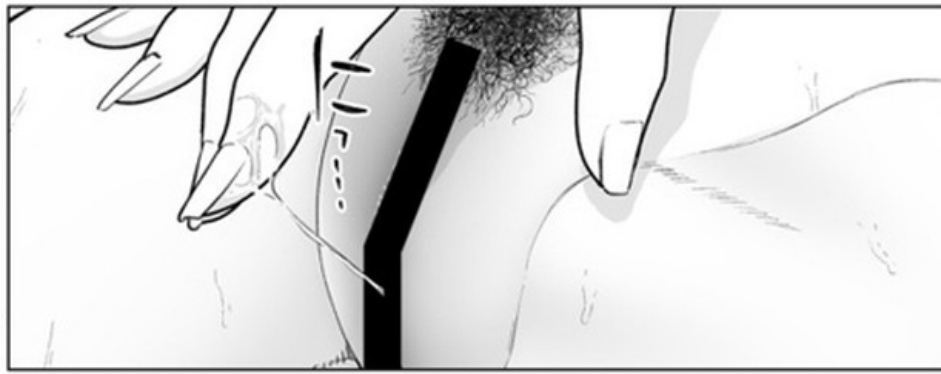
まりまり.....

いっ...  
いっ...  
いっ...

はっ...  
はっ...  
はっ...

はっ...

はっ...















はっ

.....  
後ろから  
突いて下さい...

はっ..

はっ..



私は何もしませんから  
御堂先生ご自身でどうぞ…

さあ  
遠慮なさらずに…



お手伝い  
しましょう…

うむ…

しっかりと  
私のを啜え込み  
ましたね…



どうですか？

久しぶりの私のものご満足頂けましたか？



な…何を…

おっと…

勘違いしないでください



私からは御堂先生に一切コンタクトを取りませんでしたよね…



先生からの熱い要望に根負けしてね…

それにお応えしただけですよね…



ああ…  
気持ちがいい…

亡くなった  
主人は…

こんなこと  
教えて  
くれなかった…

主人が亡く  
なつてからは

義息子を育て  
独立させること

それしかない…

そう…

思ってた…







染められちゃった...

.....私.....

主任の...

”色“に.....

.....

.....

.....

.....

.....















…っあぁ…  
最高だよ……

咲子は  
最高の女だ…

クククク…

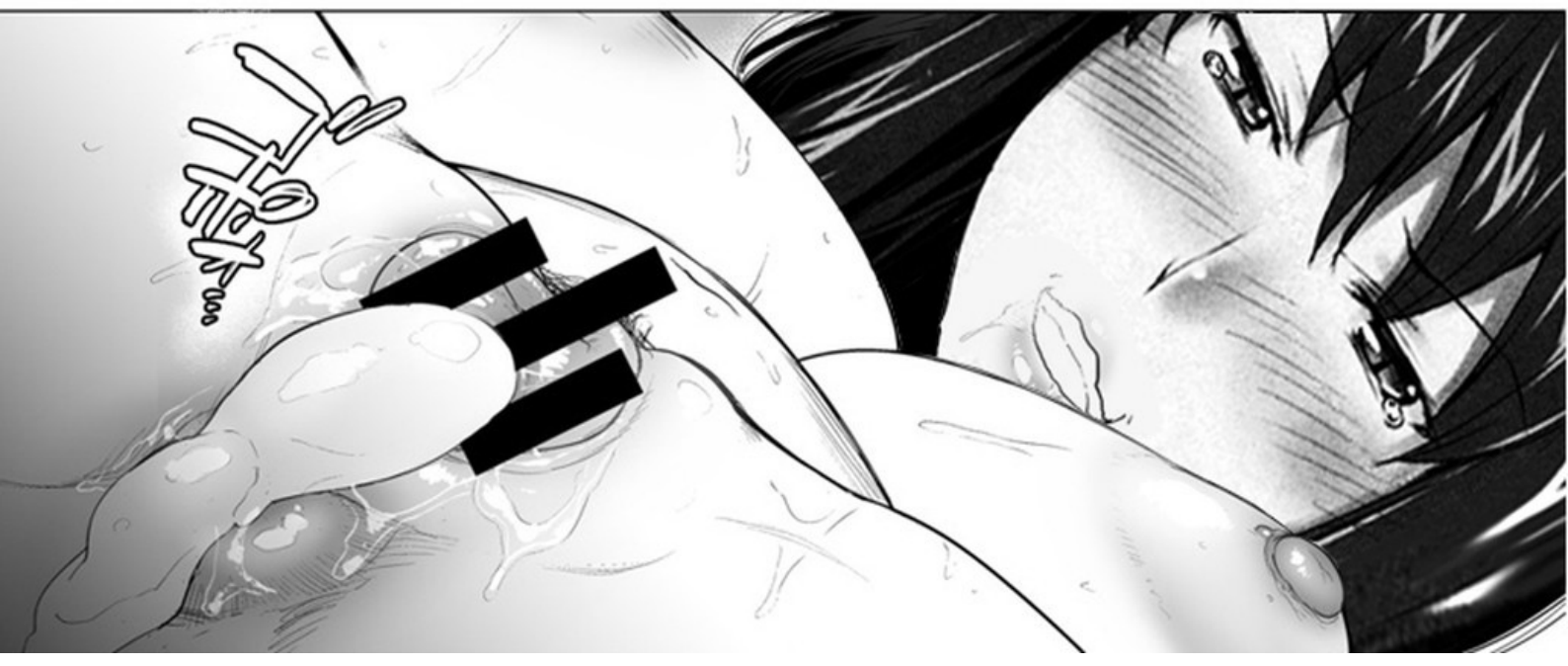
ククク



この先  
どうするかは...

君に任せる.....

フン...



フン...



色狂いめ……

よく  
染まった  
もんですね……

主任……  
おクチが  
過ぎます……

これは私が……

望んでること  
ですから……

はぁ  
はぁ

はぁ

ぐわ

はぁ



